

東葛クリニック病院における新型コロナウイルス感染者の発生（2021年2月26日）について
（第2報）

2月26日に判明した入院患者の新型コロナウイルス感染に端を発した当院一般病棟における新型コロナウイルス感染者の発生について、その後の経過をご報告いたします。

3月8日の第1報でご報告した通り、当院では一般病棟の患者および病棟職員あわせて5名の新型コロナウイルス陽性者を確認いたしました。3月10日までの間に全入院患者および一般病棟に関わる職員212名のPCR検査を実施し、第1報でご報告した5名以外の陽性者は確認されませんでした。

3月10日には、千葉県クラスター等対策チームが当院の状況を調査し、その結果、当院における感染対策について大きな問題はないことを確認いたしました。

しかしながら、3月13日に一般病棟の職員1名の新型コロナウイルス陽性を新たに確認いたしました。本職員は、3月1日にPCR検査にて陰性を確認しておりましたが、3月12日に発熱等の症状がみられたため、3月13日に新型コロナウイルスPCR検査を実施し、陽性を確認いたしました。本職員は体調不良となった日より、勤務はしておりません。また、濃厚接触者はおりませんでした。

今回の新型コロナウイルス感染者の発生に伴い、一部縮小をしておりました外来診療につきましては、外来診療に関わる職員に感染者の発生がみられていないことから、3月15日より通常通り、診療を行います。

入院につきましては、引き続き、新規の入院の受入れを中止いたします。

今後も保健所と連携を取り、ご指導をいただきながら、適切に対応してまいります。

この度は、皆さまにはご不安、ご迷惑をおかけし大変申し訳ございませんが、ご理解とご協力の程、よろしく願いいたします。

2021年3月15日

院長 内野 敬